



1 学期終了 ～進路実現の夏へ～

いよいよ 25 日間の夏休みが始まります。授業のない自由な時間が多くなる夏です。そこで、「文武両道を実践し、進路を考える夏」にしてください。進路を考えるということは、ただ大学を選ぶことではありません。10 年後、20 年後、そして 50 年後に、どのような人生を歩みたいのかを考えることです。「誰かに勧められたから」「行けるといいや」という理由で進路を決めてしまうと、必ず後悔します。だからこそ、自分自身と向き合い、自分で考え、自分で決めてもらいたいと思います。少し無理かなと思うことでも、ぜひ背伸びをして挑戦してください。覚悟を決めた瞬間、「やるしかない」という前向きな力が湧いてきます。そして、3 年生の皆さんにとっては、受験の夏となります。ここからが本番です。皆さんの中には、模試の結果や成績が思うように伸びなかったり悩んだりしている生徒もいると思います。しかし、その点数が本番の結果ではありません。E 判定から志望校に合格した先輩もいます。心配事や悩み事は多いかもしれませんが、しかし、卒業した多くの先輩方も同じような思いを抱え、それを乗り越えてきました。31 期の皆さんなら大丈夫です。自分を信じ淡々と努力を続けてください。大丈夫です。2 学期に元気な皆さんと再会できることを楽しみにしています。向陽生の皆さんは確実に成長しています。1 学期、本当にお疲れさまでした。

・向陽高校後援会理事会・第 1 回学校保健委員会・令和 8 年度第 1 回学校評議員

7 月 21 日(火)に本校後援会理事会が開催され、後援会会長 金城一男様、副会長安村孝様、太田茂秋様と「今年度予算」「生徒支援金の増額等」について協議を行いました。翌 22 日には学校保健委員会が開催され、生徒及び職員の安全管理と健康保持・増進を目的として協議が行われました。学校三師のうち、学校歯科医の加藤広道様、学校薬剤師の新垣秀幸様からは「本校生徒の口腔内の状況」「糖分摂取」に関する現状等についてご説明をいただきました。さらに、23 日(木)には学校評議員会が開催され、評議員の徳良不二男様、半嶺通男様、薊典子様、杉本龍様に 1 学期の学校の様子について説明を行い、委員の皆様から「入学定員の確保」「SSH の継続」等について、貴重なご指導・ご助言をいただきました。これらの会議は、「向陽高校の発展と生徒のため」を主な目的として開催されており、毎回、前向きで建設的なご意見をいただいております。生徒の皆さん、皆さんを支えているのは PTA 活動が中心であると思われがちですが、これらの会議も皆さんの学校生活を支える重要な役割を担っていることを理解してほしいと思います。最後に、各会議の準備・運営をしていただいた野原教頭先生、比嘉教頭先生、金城先生、またご参加いただいた上原先生、與儀先生、下地先生、宜保先生、玉城先生、徳田先生、野原先生、盛田先生、平良先生に感謝申し上げます。あわせて、PTA 会長の大田様、副会長の大城様、木村様にも心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



OIST 研修！

7 月 22 日(水)OIST 研修して、恩納村にある沖縄科学技術大学院大学を 1 年生が訪問しました。この研修では OIST 内の施設・研究室の見学と実際にそこで働いている研究者から直接、話を聞くことができ、とても有意義な時間となりました。また、研究職という職業も身近に感じられたと思います。将来、向陽高校生から沖縄県、日本、世界の為になる研究を行い、ノーベル賞を受賞する生徒が輩出すること期待しています！



「Moving Forward Together」

生徒・保護者の皆さんへ

～夏休みを安全で充実したものにするために～

いよいよ夏休みが始まります。夏休みは、自分の時間が増え、普段できないことに挑戦できる大切な期間です。しかし、その一方で気のゆるみから思わぬトラブルや犯罪に巻き込まれることもあります。下記の注意点に関しては、生徒の皆さんは、すでに知っている話、理解している内容だと思いますが改めて確認をお願いします。

1 闇バイト

簡単に儲かる話はありません。SNSなどで、「高額報酬」「簡単な仕事」「すぐに稼げる」などの募集を見かけることがあります。簡単な作業や高額報酬を謳って SNS で募集し、一度加担すると個人情報や握られて脅迫され、犯罪から抜け出せなくなります。最終的には逮捕され、重い刑事責任を負うことになります。「簡単に儲かる。」そのようなうまい話に絶対に乗らないで下さい。また、相手から「身分証明書を見せて」「写真を送って」等、言われたら、すぐにやり取りをやめ、メール・電話を切って下さい。そして、すぐに保護者や警察等に相談してください。警察では被害が深刻化する前に安全に対処するための相談窓口が用意されています。

2 薬物

沖縄県では薬物の若年層における蔓延と低年齢化が深刻な社会問題となっています。大麻、エトミーデート等をはじめとする薬物は絶対にダメ。違法薬物です。「害はない」「みんなやっている」という言葉にだまされないでください。薬物使用のきっかけは、友人や先輩など身近な人からの誘いが多いと言われています。薬物を勧める人は、本当の友達でも先輩でもありません。そのような人物・誘いからは距離を置きましょう。そして、きっぱり断り、その場から離れてください。逃げる勇気を持つことも、自分を守る大切な行動です。そして、ゲートウェイドラッグとなる「たばこ」「アルコール」等も、もちろん絶対にダメです。

3 深夜徘徊について

沖縄県青少年保護育成条例では、深夜(午後 10 時から翌日午前 4 時まで)の外出は補導の対象となります。また、深夜徘徊によって、犯罪に巻き込まれるケースも高くなります。上記の時間はゆっくり自宅で過ごす等して下さい。夜の公園等にも行かないようにして下さい。

○その他

夏休みは、自分の好きなことに取り組んだり、新しいことに挑戦したりできる貴重な時間です。その一方で、学校がないことで、一人で過ごす時間が増え、将来のことや友人関係、家庭のことなどについて悩んだり、不安な気持ちになったりすることもあるかもしれません。悩みや不安を抱えることは決して特別なことではありません。しかし、その気持ちを一人で抱え込み続けることはとてもつらいことです。困ったことや心配なことがあったときは、一人で解決しようとせず、家族や友達など信頼できる人に相談してください。話をするだけでも気持ちが軽くなったり、解決の糸口が見つかったりすることがあります。「こんなことを相談してもいいのかな」と遠慮する必要はありません。不安を感じたら、すぐに保護者や友達等に相談しましょう。また、24 時間 365 日相談できる窓口として、「#いのち SOS」☎ 0120-061-338(おおい ささえる)等もあります。悩みや不安がある時は、一人で抱え込まず相談してください。相談窓口の詳細については、「#いのち SOS」ホームページをご確認ください。

生徒の皆さん、一度しかない今年の夏休みを大切に過ごしてください。安全な行動を心がけ、心身ともにリフレッシュしながら、有意義で充実した夏休みとなることを願っています。

自分の命と未来を守るために、正しい判断と行動を心がけましょう。

保護者の皆様には、お子様への見守りや声かけにご協力いただきますようお願いいたします。生徒一人一人が事故やトラブルなく夏休みを過ごし、2 学期に元気な姿で登校できるよう、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。